

液化石油ガスを使用する際の主な注意点

露天販売・移動販売・工事作業・イベント・屋外炊事など
屋外で液化石油ガスを使用する際には、安全と事故防止のため次の点に注意してください。

容器の設置方法

- * 水平な場所に倒れないよう**転倒防止**を施して設置する。
- * 容器と燃焼器具などの火気は**2メートル以上**離す。
- * 容器・ガス器具の周りには、**可燃物**を置かない
- * 車両等で輸送する際には、容器を垂直に保ち、容器同士の干渉による**摩擦・火花**に留意し、ロープ等で固定して**転倒転落防止**を図る。

各機器の接続方法

- * 容器と燃焼器具は、**2メートル以上**離し、接続用ゴムホースは**バンド**で確実に接続・**固定**する。
- * ゴムホースは常に**点検**し、ひび割れ等**損傷**があるものは絶対に使用しない。
- * ゴムホースは**通行による脱落等**に十分注意して配管し、踏みつけによる**損傷防止対策**（ホースカバー等）を施す。

点火と消火

- * 点火と消火はスイッチの操作だけでなく、必ず**目視で確認**する。
- * ガスの**炎は、明るい場所では見えにくい**場合があるので要注意。
- * 使用中はその場を**離れない**。
- * **立ち消え**に注意する。（風や煮こぼれで消えてしまう場合がある。）
- * コンロ周りは**風が当たらないよう工夫**する。（暴風板は、必ず**不燃材**を使用する。）
- * 火災時に備え、使用期限の有効な**消火器**を1本以上設置する。

ガス漏れを発見したとき

- * 使用中の器具の**火を消し**、周囲で使用中の火も全て消す。
- * L Pガスは、空気より重いため**低い場所に滞留**する。
- * 容器の**バルブ**・器具の**栓を閉める**。（バルブは時計回り（右回り）で閉める。）
- * **風上に避難**し、L Pガス販売店や消防署等に連絡する。
- * 万一に備え、**緊急時の対処法や連絡先等**を作成して確認し合い情報を共有する。